

令和6年8月5日(月)

大宮区役所 401・402会議室

令和6年度第1回さいたま市アーバンスポーツ研究会

議題関係資料

【さいたま市アーバンスポーツ研究会設置要綱（抜粋）】

（設置）

第1条 本市の、アーバンスポーツ活性化事業に関する施策の実践的かつ効果的な実現のため、アーバンスポーツに関する専門的な知識や国際競技大会等への出場経験を有する者等から、総合的かつ専門的な見地から意見を聴取する場として、さいたま市アーバンスポーツ研究会（以下「研究会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第2条 研究会は、次に掲げる事項について意見聴取等を行うものとする。

- （1） アーバンスポーツの競技振興のあり方に関すること。
- （2） アーバンスポーツのルールやマナーの普及啓発のあり方に関すること。

【委員】

資料1 さいたま市アーバンスポーツ研究会委員名簿 のとおり

さいたま市のこれまでの取組について

さいたま市総合振興計画への位置づけ

さいたま市総合振興計画基本計画実施計画

◆ 令和3年度より、さいたま市の最上位計画である「総合振興計画」に「アーバンスポーツの活性化」を位置づけ

施策 03-2-1		施策マネジメント局	施策マネジメント課
スポーツと広範な分野の連携を通じた総合的なまちづくりの推進		スポーツ文化局	スポーツ政策室
		目標値	
成果指標	実績	令和7年度	令和12年度
1 本市を「スポーツの盛んなまち」と感じている市民の割合	69.3% (令和2年度)	78%	80%
2 成人の週1回以上のスポーツ実施率	66.6% (令和2年度)	68%	70%
3 児童・生徒の週1回以上のスポーツ実施率(学校の体育の授業を除く)	小5: 84.4% 中2: 83.5% (令和元年度)	小5: 88% 中2: 87%	小5: 93% 中2: 90%

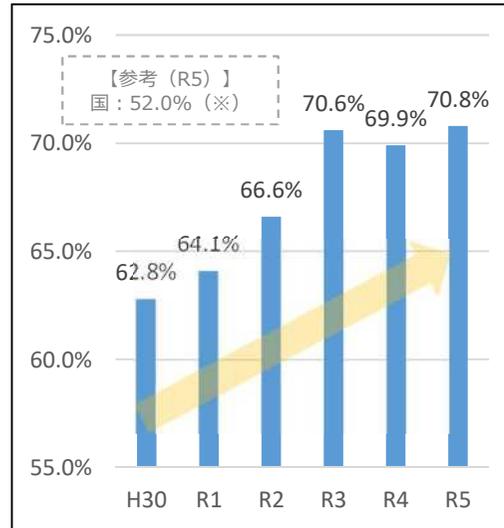


事業 03-2-1-03		アーバンスポーツの活性化					
重点戦略	推進策への貢献(再掲先)	03-1-1	04-1-2				
事実課	スポーツ政策室	スポーツ振興課					
事業目的	市民の誰もが、いつでも、どこでも楽しむことができるアーバンスポーツの普及により、生涯スポーツの振興を図ることで、市民のスポーツ実施率の向上を図ります。						
事業内容	スポーツ実施率の向上及び地域住民の交流の創出に向けて、東京2020大会にて正式種目に採用され、国内で競技人口が増えているアーバンスポーツを普及させるため、公民連携したアーバンスポーツの活性化を推進・実践していく組織(以下、「公民連携組織」という。)を設立し、地域の人や民間事業者を交えて、ソフト事業とハード整備事業を一体的に進めていきます。アーバンスポーツはウォーキングやランニングと同じく、個人単位で気軽に楽しめるスポーツであり、ウィズコロナ・アフターコロナにおいても、市民のスポーツ実施率向上に資するものです。 ・アーバンスポーツ競技者の中心である青少年に公民連携により活動の機会を提供します。 ・市内にアーバンスポーツの文化を醸成することで、公民連携組織に頼る人を増やす活動を行います。 ・個性を重視するアーバンスポーツの文化に理解のあるまちづくりを推進します。						
目標指標	実績	各年度の目標				計画期間 最終目標	
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
(1) 公民連携組織の設立・運営支援	—	設立準備	設立	運営支援	運営支援	運営支援	令和7年度までに 設立・運営
(2) アーバンスポーツに関するソフト事業の実施件数	—	3件	3件	4件	4件	5件	令和7年度までに 5件
(3) 身近にアーバンスポーツができる場所の整備数	—	候補地検討	1か所 開設準備	1か所開設	1か所 開設準備	1か所開設	令和7年度までに 2施設

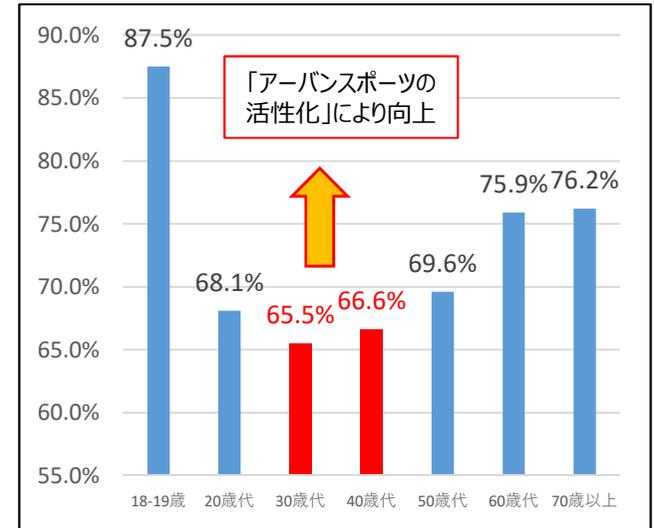
ターゲットの捉え方①

◆ さいたま市民のスポーツ実施率の推移 (成人で週1日以上実施した人の割合)

<成人のスポーツ実施率の推移>



<年代別のスポーツ実施率 (R5)>



子育て世代の親子

【大人】20代後半から40代前半

【子ども】未就学児から小学生まで

これまでのアーバンスポーツ体験イベントの参加者層は「未就学児から小学生までの子ども」と「30代・40代の親」が大半を占めている。

⇒アーバンスポーツは、親子で一緒にできるスポーツ

⇒30代・40代のスポーツ実施率向上に寄与できる

ターゲットの捉え方②

競技レベル	体験（未経験者）	初心者	中・上級者（既存プレイヤー）
場所	<p>【イベント】</p>  <p>Urban Sports SAITAMA アバスポ さいたま</p>	<p>【フラット面】</p> 	<p>【専用施設】</p>
コンテンツ	<p>キックバイク/BMX</p>  <p>スケートボード</p>  <p>インラインスケート</p> 	<p>アバスポふらっと野田小プール</p> 	<p>BMX</p> <ul style="list-style-type: none"> → フリースタイルパーク → フラットランド → レーシング → ...  <p>スケートボード</p> <ul style="list-style-type: none"> → ストリート → パーク → ...  <p>インラインスケート</p> <ul style="list-style-type: none"> → フリースタイル → スラローム → ... 

子育て世代の親子

これまでの取組

【競技振興】

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
【スポーツ庁受託事業】 「Sport in Life推進プロジェクト」	【スポーツ庁受託事業】 「スポーツによるグローバルコンテンツ創出事業」	【さいたま市自主事業】 「アーバンスポーツ活性化事業」	【さいたま市自主事業】 「アーバンスポーツ活性化事業」
<ul style="list-style-type: none"> ➤ レンタルパーク事業 (3か月間の仮設パークを設置) ➤ 体験教室事業 (大門上池調節池や公園内でイベントを開催) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 体験イベント (親子で一緒に楽しむアーバンスポーツ体験イベントを開催) ➤ 動画コンテンツの配信 (BMXやインラインスケートの乗り方や技に関する動画等をYouTubeで公開) ➤ モニターツアーの実施 (3X3体験&さいたまブロンコス観戦日帰りツアーを実施) 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 体験イベント「アバスポさいたま」 (親子で一緒に楽しむアーバンスポーツ体験イベントを開催) ➤ スクールキャラバン (各分野のトッププレイヤーが小学校等を訪れ、パフォーマンス鑑賞や、学校施設内のできる競技を子どもたちに体験してもらう機会を提供) 	→この後で詳述

これまでの取組

【ルール・マナーの普及啓発】

子どもたちにストリートカルチャーを起源とするアーバンスポーツ特有のネガティブイメージを改善し、将来に繋げることを目的として、令和3年度にキャラクターを使ったルール・マナー普及啓発チラシを制作。体験イベントで参加者へ配布などを行い普及を図ったほか、スクールキャラバンにおいて、講師からルール・マナーを守ることについてお話いただいた。

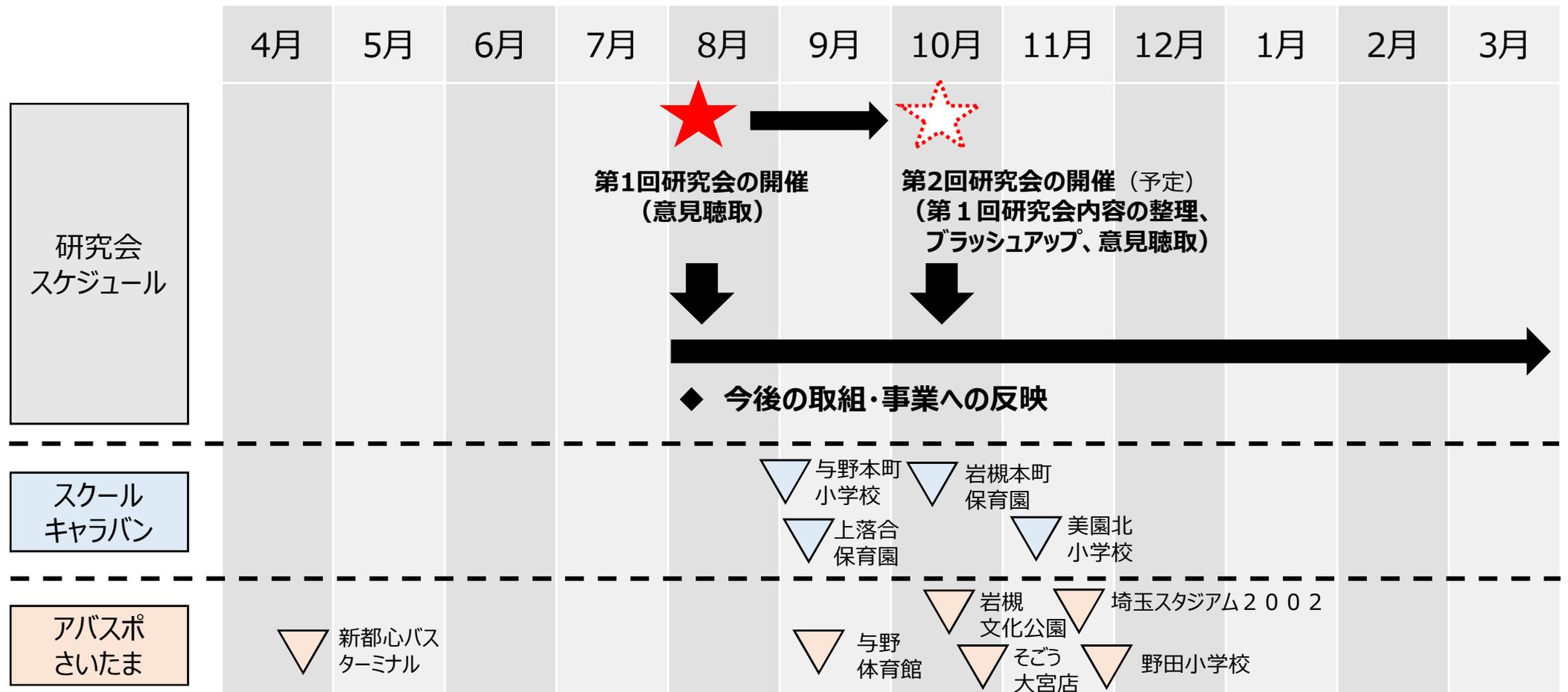
令和3年度	令和4年度	令和5年度
<ul style="list-style-type: none">➤ ルール・マナー普及啓発チラシの制作➤ 体験イベント等におけるルール・マナー普及啓発チラシの配布	<ul style="list-style-type: none">➤ 体験イベント等におけるルール・マナー普及啓発チラシの配布	→この後で詳述

今年度研究会の内容について

議題

- ①令和5年度の実績結果、令和6年度の方針
- ②アーバンスポーツの活性化に向けた市民連携

スケジュール（予定）



(1) 令和5年度の取組結果、令和6年度の方角性

【参考】 令和5年度さいたま市アーバンスポーツ研究会での議論まとめ

	【① 競技振興】	【② ルール・マナーの普及啓発】	【③ その他】
【令和5年度】	<ul style="list-style-type: none"> ● 体験イベントを実施する場所の近隣小学校等で、スクールキャラバンを実施し、イベントの宣伝を行う。 ● 体験の機会を増やすとともに、非認知層へアプローチするため、市やさいたまスポーツコミッション等が主催するスポーツイベント等の開催時に体験イベントを実施する。 ● 次回イベントやアバスポさいたまそのものを効果的に周知するため、体験イベントの内容を動画配信する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 低年齢層からの浸透を図るため、スクールキャラバンにおいて、ルール・マナーの普及啓発を行う。 ● カルチャーへの浸透を図るため、ショップ等へのルール・マナー普及啓発チラシの配布を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校体育館等を、「アーバンスポーツができる場所」として活用することの実現可能性の検討。 ● 常設に限らない、「アーバンスポーツができる場所」の検討。
【令和6年度以降】	<ul style="list-style-type: none"> ● カルチャーコミュニティ形成の気運醸成を踏まえた、イベント会場の設定や保護者の取り込みの検討。 ● スクールキャラバンにおける、「運動の楽しさ」の浸透度の検証方法の検討。 ● アーバンスポーツの効果の調査及び発信。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 実際の罰金事例等の調査及び効果的な抑止策の検討。 ● スクールキャラバンにおける、ルール・マナー普及啓発の効果検証方法の検討。 ● ショップ等へのルール・マナー普及啓発チラシ配布の効果検証方法の検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 常設の「アーバンスポーツができる場所」の拡大。 ● 商業施設等でのアバスポさいたま開催による「アーバンスポーツができる場所」整備の機運醸成。

R5年度の取組み

◎ スクールキャラバンから体験イベントへ、連動した取組

□ スクールキャラバン：小学校・保育園を訪問し、トッププレイヤーのパフォーマンス披露と体験会を開催。

令和5年度	日程	10月6日	10月12日	11月2日	11月7日
	会場	大宮南小学校	大宮保育園	きりりつばさ保育園	野田小学校
	内容	パフォーマンス、 ダブルダッチ・ダンスの体験	パフォーマンス、 キックバイク・ダンスの体験	パフォーマンス、 キックバイク・ダンスの体験	パフォーマンス、 ダブルダッチ・ダンスの体験



BMXパフォーマンス



キックバイク体験



ダブルダッチ体験



ダンス体験

□ 体験イベント「アバスポさいたま」：親子で一緒に楽しむアーバンスポーツ体験イベントを開催。

令和5年度 の実績	日程	10月21日～22日	11月18日～19日	12月9日～10日
	会場	さいたま新都心バスターミナル	埼玉スタジアム2002北広場	そごう大宮店屋上
	内容	BMX、ダブルダッチ、ダンス	スケートボード、フリースタイルバスケ、ダンス	スケートボード、BMX
	参加者数	300人（延べ）	385人（延べ）	205人（延べ）



BMX



スケートボード



ダブルダッチ

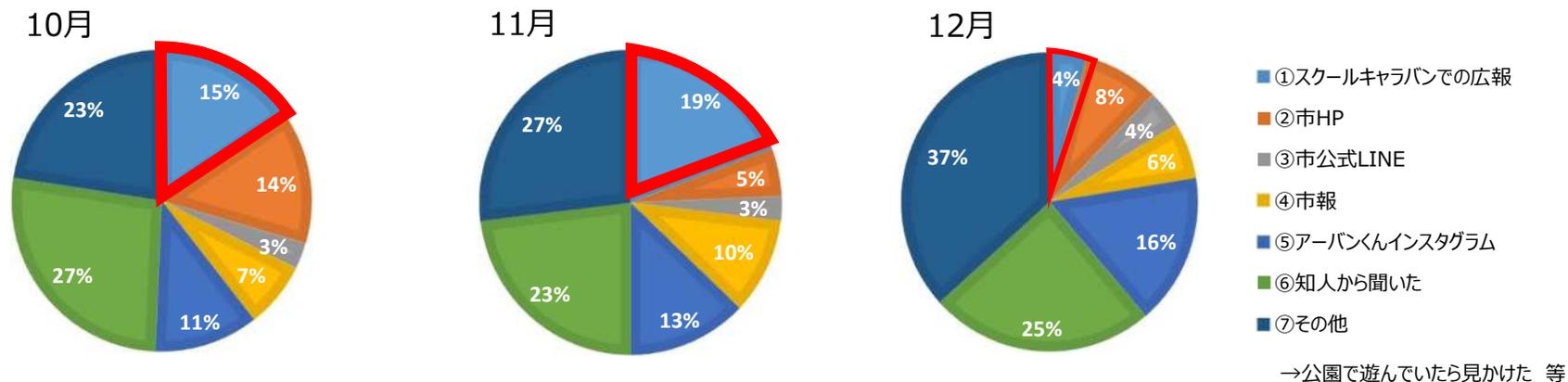


ダンス

【競技振興】

結果

◇「アバスポさいたま」参加者へのアンケート結果（イベントをどのように知ったか）



10月・11月は、スクールキャラバンを実施していない12月と比較しスクールキャラバンからの参加者割合が高く、地域の子へのアーバンスポーツ体験機会を増やすとともに、効果的にアバスポさいたまの宣伝を行うことができた

課題

◇「アバスポさいたま」参加者へのアンケート結果（今後アーバンスポーツを実施したいと思いますか）

「そう思う」・「ややそう思う」と回答した割合が、大人：約82%、子ども：約92%であった

➡ 実施したいと答えた割合が高いものの、継続したいというニーズにどのように対応するか方策を検討する必要がある

R6年度の方向性

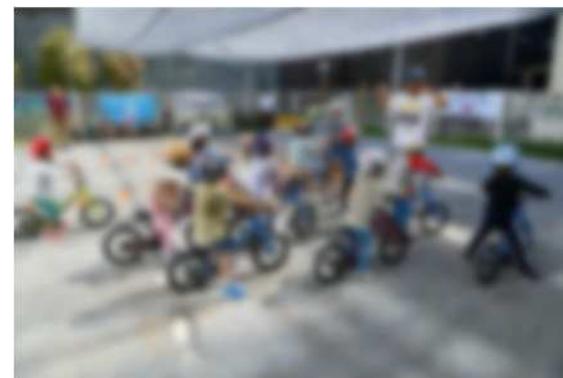
「アバスポさいたま」等で、今後どのように継続して実施していきたいか、ニーズを把握するためのアンケートを実施する

【ルール・マナーの普及啓発】

R5年度の取組み

◎ **スクールキャラバン**で： 講師から、アーバンスポーツをする上でのルール・マナーについて説明。

令和5年度の実績	日程	10月6日	10月12日	11月2日	11月7日
	会場	大宮南小学校	大宮保育園	きらりつばさ 保育園	野田小学校
	講師	田中光太郎さん (BMX) 他	守上大輔さん (キックバイク) 他	守上大輔さん (キックバイク) 他	田中光太郎さん (BMX) 他
	ルール・マナーについて	挨拶の大切さやヘルメットの着用、公道でのブレーキの必要性、練習の際には他の方への配慮を忘れないこと等についてご説明いただいた。			



- ◎ **アバスポふらっと（後述）**で：
- ①場内にルール・マナーの啓発看板を設置
 - ②オープニングセレモニーでルール・マナーの説明
(松田さやかさん 他)
 - ③来場者にルール・マナー普及啓発チラシを配布



【ルール・マナーの普及啓発】

結果

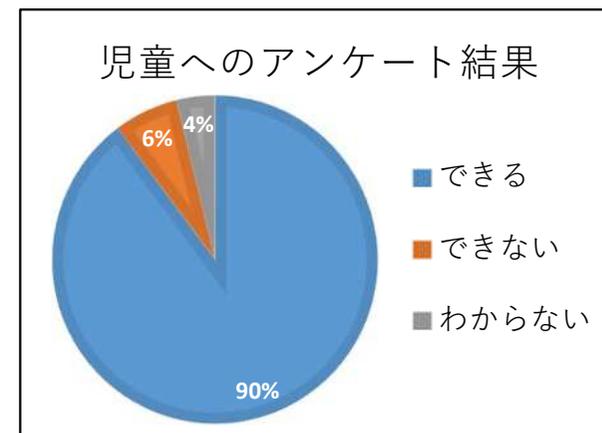
スクールキャラバンでのルール・マナーの啓発について、アンケートを実施

▶ 児童へのアンケート結果

【回答者】大宮南小学校4年生（112人）、野田小学校1～6年生（123人）

【質問内容】アーバンスポーツをする上でのルール・マナーについて、守ることができるか

→ **90%が守ることができると回答**



▶ 先生へのアンケート結果

【回答者】大宮南小学校の先生（3人）、野田小学校の先生（7人）

【質問内容】子どもたちへのルール・マナーの普及・啓発に当たり、良いと考える方策はあるか

→ 本当にかっこいい姿を先駆者が見せる / プロの方達からの啓発活動も大切 等

課題

・アンケートでは守ることができると回答している割合が高いものの、その後実際に守ることができているか、状況の把握が難しい

R6年度の方角性

・スクールキャラバンを実施している小学校へ、ルール・マナーが普及しているか、現在の状況等を踏まえた改善点等、学校の意見の聞き取りを行う

・違反事例等の調査を行い、スクールキャラバン等で具体的な事例を紹介・認識してもらうことで、ルール・マナーの順守に繋げる

R5年度の取組み

アバスポふらっと野田小プール

野田小学校プール底面を活用し、アーバンスポーツができる場所としてオープン
初心者や子育て世代の親子がアーバンを楽しむための、傾斜等のないフラットな空間を提供

オープン

プレオープン：令和6年3月17日（日）
オープン：令和6年3月20日（水・祝日）

利用時間

土曜・日曜・祝日
9:00～17:00
（※令和6年7月22日より夏季閉鎖中）

利用料金

無料

利用種目

スケートボード、BMX、インラインスケート

その他

- ・道具は持参
- ・駐車場の利用は不可
- ・安全管理として委託業者が1名常駐



結果

【利用状況】

- 3月：14人（7日）
- 4～7月：27人（36日）
- 利用者からは、「滑りやすかった」という声がある一方で、**初心者向けのセクションの設置や用具の貸出についての要望あり**

課題

利用者が伸び悩んでいる状態

→**ハードとソフト両面からの利用者増加に向けた取組みが必要**

R6年度の方向性

●ハード面

- ・駐車場の利用 → 学校や学校開放委員会と現在調整中
- ・初心者向けのセクションの設置や用具の貸出について → 現在検討中

●ソフト面

- ・野田小学校プール等を会場としたアバスポさいたまを開催する
- ・野田小学校クラブ活動の時間での利用を検討する（ただし、学校側では道具の貸出や講師派遣を希望）



(2) アーバンスポーツの活性化に向けた公民連携

考え

行政でできることには限界がある

→アーバンスポーツを活性化するには、市内外で活躍する方々との連携等が必要

ご意見いただきたいこと

◎アーバンスポーツを活性化させていくための方策について

- ・アーバンスポーツ関係者との連携
指導者、プレイヤー、ショップ、事業者、その他企業 等
- ・その他活性化についての方策

※競技振興、ルール・マナーの普及啓発等の観点からご意見いただきたい

Urban sports' rules and manners

アーバンスポーツのルールとマナー

笑顔で楽しくみんなでアーバンスポーツを体験しよう！



さいたまアーバンスポーツ広域連携キャラクター
アーバンくん

Before (アーバンスポーツをする前に)

Hello!

あいさつをしましょう

Stretching

かならず準備運動をしましょう

Listen

スタッフの話をしっかりと聞きましょう

Look!

他のスポーツも見てみましょう

Manners & Rules (体験エリアについて)

Order!

コース内での追い越し禁止や順番を必ず守りましょう

Danger!

無理な使い方や技は絶対にしないでください

OK!

決められた場所や時間以外でやってはいけません

Don't clutter!

ペットボトルや食べ物は散らかさず、邪魔にならない所におきましょう

Wear (服装について)

OK!

ヘルメット/プロテクターを必ず着用しましょう

Sneakers!

運動のできる靴や服装で参加しましょう

in

余った靴の紐は靴の中に入れてください

OK!

スカートではなく、ズボンで参加しましょう

Others (その他)

Clean!

ゴミは必ず持ち帰り、来た時よりもキレイにしましょう

Photograph

撮影するときは許可を取りましょう

Injury!

ケガをしてしまった場合や体調が悪くなった場合には、すぐにスタッフに声を掛けてください

Don't bother others!

他の人の邪魔や迷惑になることはやめましょう

アバスポ
さいたま



Instagram
#urbankun_official



SSC
Saitama Sport Commission